1951年12月7日第3種郵便物認可

社会新報（岡山県連合版）

2013年9月1日（毎月1日発行）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3-7F
Tel.03-3592-7515 1部150円月700円〒160

岡山市北区弓之町5－7 Tel.086－226－1234 発行責任者 武本恒夫
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail：sdp.okayama@helen.ocn.ne.jp

核も戦争もない平和な21世紀に！ くり返すな原発震災！ めざそう！脱原発社会

「被爆68周年原水禁世界大会・広島」に参加して

広島原爆資料館前で折り鶴行進をまつ参加者（4日）

「異次元の暑さ」の今夏も原水禁広島大会が8月4～6日開催、全国3500人岡山県水禁も9名参加。今年は脱原発をめぐり原水禁単独で開催となりました。ヒロシマ、ナガサキから68年、フクシマから2年5ヶ月の今年の大会をMさんから報告を頂きました。

原水禁広島・全体会議（写真：党広島）

命より金の原発再稼動優先

原水禁は一貫して「核と人類は共存できない！」との主張の下で運動をしてきました。東京・福島第一原発の事故。その後の「放射能災害」このことを切り離して「反核・平和の運動」などあり得るのでしょうか？ 私は「あり得ない」と思います。

さて、そうした中で開催された4日の「開会総会」で挨拶に立った川野浩一原水禁議長は、「私たちは核と人類は共存できないの信念のもとで運動してきた。しかし、安倍政権は命より金を優先し、原発再稼動を進めている。福島原発は収束していない。さらに運動を進めよう」と訴えました。

反核・平和の運動 全国の仲間に連帯

二日目の分科会では、「脱原子力、再稼動問題と脱原発に向けたエネルギー政策の展開」に参加、初日の開会総会でも挨拶された「ドイツ緑の党」イエンス・ケンツィア氏からドイツにおける「原発段階的廃炉」の取り組みや50年に及ぶ「反原子力」の闘いの歴史が紹介されたほか、所謂「原子力ロビー（推進派）」の主張を一点一点「論駁」することの重要性も訴えられました。「核なき世界」を訴えた「プラハ演説」のオバマ政権のアメリカで、核兵器をいつでも使えるように核実験が続けられている。8月22日報道で、また新たな実験が明らかとなり県平和センターは8月26日、岡山市総合公園平和の像の前で抗議の座込みを行いました。県原水禁、党も参加しました（矢

投稿「あるがままに」

今は186cmの私の息子が2～3歳頃の記憶に、デパートで座込んで困らせたことがある。私も一緒にしゃがみ込んで、同じ目線でしばらく話し合った。当時、子どものしぐさは何でもかわいいだけ。それから30年、今、90歳になろうとする母は認知症の入り口にある。見方によれば子どもである。しかし、長年の生活習慣を変えようとせず、口癖で言葉を荒げることもある。このような話していると、元看護師のHさんは「あるがままに」と語られる。どうして自分の子どものときのような気持ちになれないのか、声を荒げたあとで悔やむ。しかし、今日も繰り返した。今、安倍政権は福祉政策を見直し、高齢者負担、家庭負担を強めようとしている。「やさしい社会」とは。高齢者問題を家の中に閉じ込めてはならない。

改憲はナチスに学べ

麻生副総理の発言だ（7月29日都内講演）。報道によると日本国憲法を変えるために「ワイマール憲法は、誰も気がつかない間にナチス憲法に変わった。あの手口を学んだらどうか」という▼この発言を地方紙Sは31日、小さな記事で事実を報じ、その中で30日の外国政府の批判会見を紹介した。全国紙Aは、8月1日のコラム欄で「粛々と民主主義を破壊したナチスのやり方を見習えというのか」と批判、2日になって1面で麻生氏の「訂正・謝罪」を大きく報じた▼しかし、日本メディアの反応はどうか。例によって麻生氏の「失言」で済ますことで果たしてどうか（社民党は31日、声明で厳しく「糾弾」）▼自民「1強国会」を背景に、これまで違憲としてきた「集団的自衛権行使は違憲」の憲法解釈を変更し、アメリカの戦争に参加する動きが強まっている。本音は、自らの意志で「戦争のできる国」へ一歩踏み出すまでだ▼自衛隊のメディア登場も変わった。自衛隊幹部学校の「人間くささ」を強調した演出、戦車と人を競争させたりゲーム感覚の「カッコいい」射撃（少女が戦車で学ぶ場面も人気という）、強襲が任務の巨大なホーバークラフトが大震災でガレキで埋まる海岸に上陸するシーンを見せて、あたかも人道支援が主任務と思わせる▼「はだしのゲン」の学校図書閲覧禁止が問題となった。発端の「歴史認識」議論ではなく「表現が過激」と理由をすりかえ「知らぬ間に」「見せない・聞かせない・言わせない」雰囲気が支配し、戦争の悲惨さが隠されていく▼あたかも「特定秘密保護法」で公務員の守秘義務違反で罰則で禁固10年が設けられようとしている。情報の国家統制強化の危険性は歴史の示すところだ▼日本社会の閉塞感が言われて久しい。しかし、「解決の特効薬」をナチスの手法に求めることではなく、学ぶべきは事実である。皆さんの声こそ力となる（の）

当面する諸活動

党県連合常任幹事会
9月7日（土）9時30～

「新報」読者会
9月10日（第2火）18時

弓之町「時事問題懇話会」
9月20日（第3金）18時
※いずれも党県連合会議室